



特集1 英語で話そう	P 2
特集2 ホームステイ・ホームビジット 受入体験談	P 2
事業報告 第1回 「子ども日本語学習サポーター研修会」ほか	P 3
私、岡山に住んでいます リンズ・カスピト・タキカワさん (フィリピン出身/ALT〈外国語指導助手〉)	P 7
世界の文化 ～年末年始の過ごし方編～	P 8
Think Global, Act Local ～県内国際団体のご紹介～ ネパールソサエティ岡山	P 8
お知らせ 岡山県外国人相談センター ほか	P 9
イベントカレンダー 国際貢献NGOフェア ほか	P 10

# おがやま 国際交流



## 英語で話そう

講師：北九州市立大学准教授 クレシーニ・アン氏

9月16日(月・祝)

英語と日本語で日米の文化の違いなどをつづったブログ「アンちゃんから見るニッポン」が話題となり、全国に読者を持つ言語学者のクレシーニ・アン氏を講師に迎え、「アンちゃんに学ぶ、伝わる英語!」と題して講義とワークショップを開催しました。

県内外から集まった53名の参加者は、講師の研究分野である和製英語やネイティブに伝わる英語表現、異文化理解について学んだり、グループでクイズに挑戦したりと楽しみながら英語に触れました。

(詳細は、次ページをご覧ください。)

# 特集 1

## 英語で話そう

講演では、講師のクレシーニ氏が会場を歩き参加者に質問を問いかけながら、和製英語と英語で意味の違う単語や、ネイティブに伝わる英語表現などを紹介しました。またクレシーニ氏は自身の日本での体験に触れ、真に相手のことを理解するためには、言葉を学ぶことに加えて、文化や相手の国の世界観まで学ぶことが大切であると訴えました。



講師のクレシーニ・アン氏

英語上達の鍵として「英語のレシピを見ながら料理をしたり、映画を字幕で見たりするなど、自分の好きなことに英語を取り入れること、そして自信を持つこと」と参加者にエールを送りました。

ワークショップでは、和製英語と英語のまざった選択肢

から正しい英語を選択するクイズに、グループに分かれて挑戦しました。

参加者からは「これからの英語や他の文化をもつ人との関わり方が変わると思う」「間違ってもいいので、まずは外国の人と話してコミュニケーションをとりたい」「今後の英語学習の大きなヒントになった。小さな好奇心を持つことの大切さを教わった」との感想が寄せられました。



講演の様子



ワークショップの様子

# 特集 2

## 岡山大学 米務省重要言語奨学金 (CLS) プログラム2019 ホームステイ・ホームビジット受入体験談

ホームビジット：6月23日(日)、7月7日(日) ホームステイ：7月26日(金)～7月28日(日)

### 牧原 健太郎さん

私たちはマディソン・フォルクスさんとホームビジット2日間、ホームステイ2泊3日を一緒に過ごしました。家でおにぎりを作ったり、吉備津神社の散策や花火を見に行ったりして、ゆったりと過ごしました。特に神庭の滝は、ハイキング好きの彼女に気に入ってもらえたようです。



マディソンさん(左)と神庭の滝へ

幼い娘も最初は緊張していたものの、次第に打ち解けて、身近な英単語を教えてもらったりシルバニアファミリーで遊んでもらったりするなど、とても楽しく過ごしました。小さな子どものいる私たち家族にとっても大変素晴らしい経験となりました。

### 澤田 和美さん

この夏、アメリカ人のサミュエル・キャロルさんのホームステイを受け入れました。自宅でたこ焼きを一緒に作ったり、職場のフットサルのチームとプレーをしたりし、スポーツを通して心を通わせることができました。



子どもたちとスポーツ交流するサミュエルさん(右)

日本語を勉強中のサミュエルさんがよく使った日本語は「ありがとうございます。本当に楽しかったです」。その都度自分の気持ちを言葉で伝えるサミュエルさんから言葉の大切さに改めて気付かされました。今でも時々お互いの国の風景写真を送り合い、季節の流れを楽しんでいます。

### ホストファミリー募集!

日本の家庭や暮らしを体験してみたい留学生や外国人のためにホストファミリーを募集しています。ホームステイやホームビジットで自宅での国際交流を楽しんでみませんか？  
詳しくは、企画情報課まで TEL:086-256-2914 ✉info@opief.or.jp



## 第1回「子ども日本語学習サポーター研修会」

8月18日(日)

講師：山陽学園大学総合人間学部教授 山根 智恵氏



講師の山根 智恵氏

外国人児童生徒に日本語学習支援を行うボランティアと子ども日本語学習サポーター登録者のための研修会を開催しました。

最後に、外国人児童生徒に対してどのようなサポートが望ましいのかをグループで話し合い、発表しました。この発表を通してサポートの難しさや面白さを具体的に学びました。

21名の参加者からは「これからの支援について具体的に考えることができた」「資料や教材について知ることができてよかった」といった感想が寄せられました。



活動について話し合うサポーター

山根氏は岡山県内の外国人児童生徒の現状や取り組み、他県のサポート体制、サポートをする上で役立つ参考文献などを説明しました。またブラジルの学校を訪問したときに見た授業の様子や学校の風景、ブラジルの子どもたちの陽気な性格について紹介しました。参加者は治安事情により保護者が子どもたちの送り迎えをするといったブラジルの環境や日本との文化の違いについて知ることができました。

## 第2回「子ども日本語学習サポーター研修会」

8月25日(日)

発表者：子ども日本語学習サポーター 永井 群子氏

講師：山陽学園大学総合人間学部教授 山根 智恵氏

はじめに、子ども日本語学習サポーターの永井氏がサポート活動で使用しているオリジナル教材やゴム磁石で作ったオリジナルの教具、ホワイトボードの活用方法について紹介しました。また継続的にサポートをした児童を事例に、児童の日本語学習に対する気持ちや変化などについても発表しました。

続いて山根氏の指導のもと、グループに分かれて多読



発表者の永井 群子氏

教材の作成に挑戦しました。日本語のレベルや学年などを設定し、やさしい日本語で文章を書いたり、擬音語・擬態語を使ったりしながら取り組みました。

最後に当協会が作成した「子ども日本語学習支援ガイドブック」を用いて、サポート活動の心構えや学校の仕組み、サポートの方法などを学びました。

20名の参加者からは「サポーターの話を聞くことができてよかった」「多読教材のつくり方が勉強になった」といった感想が寄せられました。



グループワークの様子

## 相談員スキルアップ研修会

9月7日(土)

講師：まつだ国際法務オフィス 行政書士 松田 葉子氏



外国人サポート



講師の松田 葉子氏

当協会外国人の相談業務に携わっている中国語、ポルトガル語、ベトナム語相談員及び4月に開設された岡山県外国人相談センターのインドネシア語、スペイン語相談員10名を対象に、「相談員に必要な在留資格の知識」をテーマに研修会を実施しました。

最も相談件数の多い入管手続きの知識を身につけるために、行政書士の松田氏から、外国人の入国・在留手続きの基礎知識や最近導入された新しい在留資格について学びました。在留資格の変更や家族滞在ビザについての相談事例の解説もあり、在留資格に関する新たな知識を増やすことができました。

相談員からは「初めて研修会に参加したが、相談事例の解説を聞き入管法が大変よく分かった」「在留資格は複雑だが、とても勉強になった。今後の相談業務に生かしていきたい」などの感想がありました。



研修会の様子

## 韓国文化教室

9月21日(土)

講師：韓国語講座 入門・初級担当 <sup>キム ヤンヒ</sup> 金 良禧氏  
韓国語講座 会話担当 <sup>パク ワン</sup> 朴 浣氏

韓国語講座の学習者と一般応募の47名が参加しました。

金氏による<sup>ジェーサー</sup>韓国の祭祀料理（先祖に供える料理）の講義では、たくさんの方が大変興味深く講師の話に耳を傾けていました。料理を通じて韓国の歴史や文化を学べた良い時間でした。



講師の金 良禧氏

朴氏による<sup>オバンセク</sup>五方色（韓国

で昔から使われている5つの色）の歴史とその影響を受けている韓国の生活用品や建築様式の話は新鮮で好評でした。韓国を



朴氏による五方色の話



ユンノリ遊びの様子

旅行するときに、とても参考になる講義でした。

韓国のユンノリ遊び（韓国で伝統的に伝わる“すごろく”のようなゲーム）では、2人の講師の説明を参考にしながらグループ対抗の大会を行い大変盛り上がりました。

韓国語学習者の学習意欲を高め、韓国の生活・文化への理解を深めた充実した講義となりました。

## 国際貢献・協力セミナー

10月5日(土)

講師：写真家 竹沢 うるま氏

共催：岡山発国際貢献推進協議会、特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 (COINN)



講演中の竹沢うるま氏の様子

「〈生きる〉とは？ アフリカの大地、世界を旅して感じたこと」と題し、写真家の竹沢うるま氏による講演会を開催し、85

名の参加者が集いました。

竹沢氏は生い立ちや写真を始めたきっかけを語りました。また、1,021日にわたり写真を撮りながら旅をした際の出来事や心の動きについて話しました。竹沢氏の語りど、これまで140か国以上を訪ね撮影された美しい写真の数々に、参加者はどんどんひき込まれました。

ボリビアの踊り子や、ウガンダの孤児院での人々との出会いなど、心を揺さぶられながら旅を続ける中で「そこに人間

が存在すれば、その数だけ世界の中心は存在する。価値観は同列であり、ヒエラルキーは存在しない」「自分の心が求めることをきちんと認識し、その上で行動を選び、それをいかに生きていく上で形に具現化するかが大切」と考えたという話はとても印象的でした。

最後に「コミュニケーションにおいて、自分の捉え方が大切。壁を作らず、自分の中に固いものを持たず、水のように柔らかく人と関わり合いましょう」とお話がありました。強さの中にも柔軟さがあり、多文化共生に基づくコミュニケーションを大切にしている竹沢氏から多くを学ぶ講演会となりました。



美しい旅の写真の数々が上映されました

## フェアトレード交流会

10月12日(土)

共催：岡山フェアトレードの会

発表団体：岡山市立岡山後楽館高等学校国際理解部、岡山理科大学経営学部経営学科エシカルラボ、ダフェプロジェクト

展示：おかやま山陽高等学校インターアクト

協力：岡山県立玉島商業高等学校ビジネス情報課、特定非営利活動法人 LOOB JAPAN

誰もができる国際協力の一つの形として、フェアトレード(すべての人が持続的かつ互恵的な関係を取り結ぶ)活動を広げる交流会を開催しました。荒天にもかかわらず54名がイベントに集いました。

前半は、『甘いバナナの苦い現実』(NPO法人アジア太平洋資料センター、2018)を鑑賞し、手軽に買えるバナナを通して、私たちの食卓と生産国フィリピンとのつながりを問い直し、知られざる作り手の苦悩や悲しみの実態を学びました。参加者からは「身近な果物が生産者だけでなく地域に住む人々の貧しい現実につながっていた」「農業による農家の人々の痛々しい姿に考えさせられた」などの声がありました。



違う世代間で交流を楽しむ

後半は、参加者同士の楽しい交流タイムを持ちました。また、地元の高校生や大学生らが、地域に根差すフェアトレード団体との協同で取り組む活動を紹介し、エシカ

ルな商品の販売を行いました。

終盤には、グループに分かれ、未来の私たちの社会に向けて各々ができる「次の一歩」について想いを共有しました。活動団体に限らず、関心のある人や社会人、若い世代、特に高校生の参加者が多く、互いの立場を超えて対話し、地域の持つ新たな一面を引き出す場となりました。



グループで意見交換「私たちにできる次の一歩」



皆で記念写真

※予定していた講師の吉永 幸子氏(特定非営利活動法人 LOOB JAPAN 理事兼フェアトレード担当、HAPPY∞HAPPY代表)による講演は、台風19号の影響のため中止し、イベント内容を変更しました。

訪問先：備前長船刀剣博物館、牛窓オリーブ園、備前焼まつり、旧閑谷学校

総勢45名で備前地方を訪れました。備前長船刀剣博物館では長船地方の日本刀の歴史や展示されている刀について学び、刀製造の映像や設備を見ました。実際に作業する様子も見学でき、参加者は興味津々に見入っていました。



長船刀剣博物館で刀を作っている様子を見学

牛窓オリーブ園では好天に恵まれ、遠くの島々まで眺めることができました。展望台で美しい瀬戸内海を眺め、オリーブオイルや柿、みかんなどのお土産を買いました。



備前焼まつりに参加

幸を満喫し、午後は伊部駅周辺で行われる備前焼まつりに参加しました。伊部の趣のある町にたくさんの窯が出店し、さまざまな種類の備前焼を見ることができました。参加者からは「来年はねずみ年なので、立派なねずみの装飾のある備前焼を買ってうれしい」といった声も聞かれました。食べ物の屋台や備前阿波踊りでにぎわい、伝統ある古い町の生き生きした様子を肌で感じました。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

最後に訪れた旧閑谷学校では、山の澄んだ空気に包まれながら歴史と文化を学びました。イベントで展示されていた備前焼作品を鑑賞したり、芝に座り静かに流れる時間を楽しんだりしました。岡山の歴史や自然に触れ、参加者からは、より岡山を知ることができてうれしいといった感想が聞かれました。



旧閑谷学校で歴史や文化について学ぶ様子

## 職場体験・職場訪問の受入れ

**7月20日(土)、8月9日(金)、8月17日(土)**

岡山商科大学附属高校の2年生1名が3日間の職場体験をしました。初日は協会の事業についてオリエンテーションを受け、多言語生活相談の相談員に活動の様子を聞きました。日本語講座の見学に来た在住外国人に英語で対応する場面もありました。

2日目は、在住外国人の生活相談や、岡山県外国人相談センターの設立の経緯について聞きながら、6か国語に翻訳された外国人相談センターのリーフレットを折る作業をしました。

最終日はカウンターで来館者の対応を中心に、日本語講座の申込み手続きの対応をしました。実際に在住外国人とやさしい日本語や英語で接する体験を通して、外国語学習や国際関係により興味が湧いたようです。また、仕事や勉強のため外国に滞在した経験や、様々な職種を経験したことのある職員との交流の中で、自身の進路について得るものがあつたようです。



日本語講座受講者にカードを渡す様子

**9月24日(火)** .....

倉敷市立古城池高校の1年生15名が来館し、職場訪問をしました。県内在住外国人の人数の推移や協会の事業、特に外国人支援について話を聞きました。外国語学習や外国語を使う機会の持てる場所、語学講座、留学体験、留学におすすめの地域についてなど、さまざまな質問が飛び交いました。その後、4階の図書資料室の見学をしました。留学の情報誌や外国語の新聞にとっても興味を示していました。

後日、生徒の皆さんから届いた手紙には、海外に滞在したことのある職員の話から刺激を受けたこと、海外でのホームステイや留学はみんなにとって憧れであり一つの目標であること、また今回の職場訪問を通してより一層思いが強くなったことがつづられていました。

# 「私、岡山に住んでいます」 岡山で活躍する外国人をご紹介します

「Good Morning マリナ先生!」マリナ先生が勤めている小学校の運動場から響く子どもたちの声です。

マリナ先生の英語は皆を笑顔にします。おおらかなオーラで周りの人を幸せな気持ちに包んでくれるマリナ先生のお話をどうぞ!

## ーフィリピン人について

フィリピン人は近所の方が自分より成功するとうらやむ傾向が強いです。うらやむだけではなく、まねをする人も多いです。

例えば、私が両親を日本に招待して親孝行旅行をしたとき、近所にその話が広まり、町のほとんどの人たちが親と一緒に旅行に出掛けたことがあります。人の幸せに負けたくないぐらい負けず嫌いですね。



フィリピンでの家族との写真

フィリピンは家族との絆をととても大事にする国です。私は独身の時から両親の老後の生活が心配だったので、今まで稼いだお金で両親に10軒の家をプレゼントしました。こういうこともフィリピンでは珍しくありません。

## ー岡山での活動について

19年前に来日して、現在は小学校で英語を教えています。また、英語講師の不足解消と在日フィリピン人の職業の改善のための団体FETJ(FILIPINO ENGLISH TEACHERS IN JAPAN)で、フィリピン人の英語講師養成活動にも取り組んでいます。

日本に住むフィリピン人の50%以上が英語を話せますが、重労働や飲食関係の仕事に従事している人が多く、家族と一緒に過ごす時間がなく悩んでいる母親も多いです。そこで岡山在住のフィリピン人の女性たちが英語教師になれるようにサポートをするため、FETJ岡山支部を立ち上げました。フィリピン人の女性たちに積極的に声を掛けたので、大勢の女性た

## 大事なのは皆の幸せ

ALT(外国語指導助手)

リンズ・カスピト・  
タキカワさん

Rinz Casipit Takikawa  
(ニックネーム：マリナ先生)

出身：フィリピン



FETJのメンバーとの様子

ちが参加するようになり、現在7人が英語講師になっています。スーツ姿で正々堂々と新しい挑戦をしている彼らを見ると喜びで胸がいっぱいになります。

## ー今後の活動について

フィリピンは貧富の差が大きく、しっかりとした教育を受けられない子どもが多いです。銀行のローンの利子もとても高いです。そこで、お金がなくて困っているフィリピン人に資金援助をする会社を来年1月にフィリピンで立ち上げる予定です。安い利子でお金を貸す事業ですので損をするかもしれません。でもお金よりみんなが平等に幸せでいられることや、人とのつながりが一番大事なことだと思います。決して豊かな環境ではない中で周りの人を助けた父の影響かもしれませんが、貧しい環境でも幸せだったことは鮮明に覚えています。小さな助けこそ皆を幸せにしてくれる鍵になるでしょう。



両親の結婚記念日のお祝い

みなさんは年末年始をどのように過ごしますか。国によって過ごし方は様々です。スリランカとドイツの様子をみてみましょう。

### スリランカ



ピユシャーニ・  
パンダーラナーヤカさん  
(パナラ市出身)  
岡山理科大学留学生/  
滞在歴1年

スリランカのお正月は4月にあり、多くの方はクリスマスをお祝いしないので、年末年始は日本のようなにぎやかなムードではありません。とは言っても、1月のフルムーン・ポヤ(満月)に行われているケラニヤ寺院のペラヘラ祭りはとても盛り上がりがあります。

ブッダが訪ねたとされるこの寺院では、1927年から毎年このお祭りを開催しており、全国から僧侶やゾウ、色鮮やかなコスチュームを着たダンサーが集まります。近くの見晴らしの良いホテルやレストランはぜひぶん前から予約でいっぱいになります。スリランカでは、女性だけではあまり出歩かないので、たい

てい両親または男女のグループでお祭りに参加します。町はきらびやかに装飾され、花火もあがります!



美しいペラヘラ祭り

### ドイツ



マンカッフ・  
パトリックさん  
(ハノーファー出身)  
岡山大学留学生/  
滞在歴1年

ドイツ人のクリスマスの過ごし方と年越しの過ごし方は、日本人とは真逆の印象です。ドイツでは、クリスマスは家族とおいしいものを囲んで静かに過ごし、年越しは恋人や友人とにぎやかに過ごすことが多いです。

11月末から12月22日頃にかけて、クリスマスマーケットが開かれます。100軒以上のお店が集まり、ホットワインなどのお酒やソーセージなどの食べもの、恋人にプレゼントするハート型のレーブクーヘンというクッキーが並び、クリスマスのシーズンを彩ります。

年越しの瞬間は、大人から子どもまで町のあちこちで花火をあげてお祝います。約2時間続くので、まるで町をあげて花火大会をしているかのように盛り上がります。冬のドイツは楽しいですよ。



ドイツで大人気のクリスマスマーケット



## ネパールソサエティ岡山

会長 プレム・プラサド・アチャーリア  
連絡先 E-mail: premacharya33@gmail.com

### 団体概要

岡山市や岡山市近郊に在住するネパール人の増加を受けて、2015年1月1日に「ネパールソサエティ岡山」は設立されました。多民族・多宗教の国ネパールの文化を紹介しながら、地域社会の多文化推進活動に取り組んでいます。

### 活動紹介

主な活動として母語での生活相談、情報提供などを行っています。最近では家族で来る人も多く、学童年齢の子どもたちの教育が大きな問題になっています。また、地域社会への貢献もしたいと考え、会のメンバーにコックさんが多いことから、昨年の西日本豪雨の時には、カレーの炊き出しを倉敷市、総社市、高梁市などで行いました。それに先立ち2015年の熊本地震の時には、募金活動もしました。ネパールでも2014年に大きな地震があり、日本に助けもらったので、そのご恩返しの意味もあります。催事に関しては、2017年にクトゥンバという伝統音楽のグループをネパールから呼んで、コンサートをしました。毎年行っているデザイン(ネパールの1年で一番大きな催事)には年々日本人や他の国の人の参加も増えています。これからも地域住民同士の交流を深め、多方面からの協力を得ながら地域社会での多文化共生を模索したいと考えています。



西日本豪雨での炊き出しの様子  
(総社市片岡市長と)



イオン岡山前での募金活動の様子



熊本地震支援活動のための募金を寄付



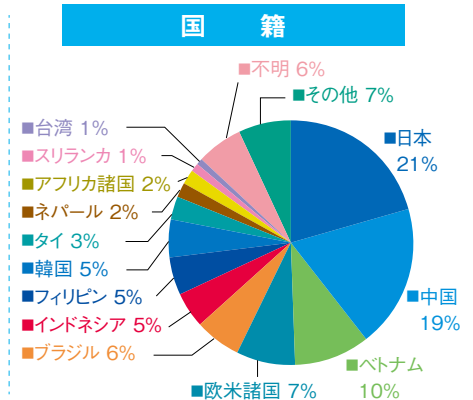
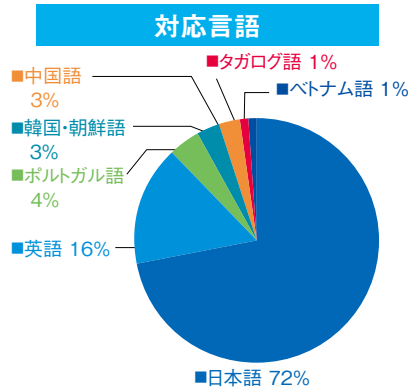
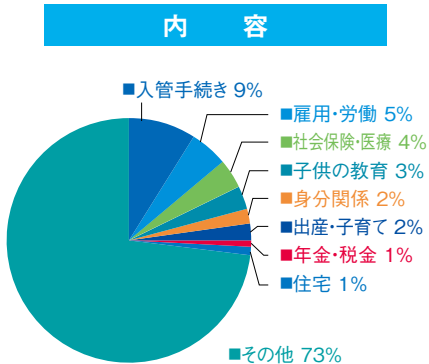
# 岡山県外国人相談センター創設から半年 ～上半期の報告と法律相談日追加のお知らせ～

岡山県国際交流協会では、外国人の生活をサポートする情報相談コーナーをはじめ、多言語での相談受付、在留相談、法律相談など、さまざまな支援を行っています。今年度上半期に当協会が扱った外国人に関する相談・情報提供は計864件。平成30年の1年間の合計は1,250件であり、一日の相談件数を見ると4.0件から5.5件と38%増加しています。これは、外国人相談センター創設によるものと考えられます。



こちらのQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

また、これまで毎月第3土曜日に行ってきた法律相談が、11月から毎月第1火曜日を加えた月2回になりました。



内容別でみると、その他が多数を占めます。これは外国人による日本語講座や各種イベントへの申込み、ボランティア登録申請も含まれているためです。相談で一番多いのは、入管手続きに関するもの、次に雇用・労働、社会保険・医療に関するものと続きます。

対応言語では、日本語が大多数を占めます。外国人からの簡単な日本語での相談や、外国人が他の機関を訪れそこから相談が入る場合、また外国人の知人・友人を持つ日本人からの相談も含みます。国籍別で日本人が多いのはそのような理由からで、次に中国、ベトナム、ブラジルと続きます。

**法律相談日が増えました**

毎月第3土曜日に加え、毎月第1火曜日にも法律相談を開催します。  
(相談日の前日の16時まで、日本語か英語で予約してください。)

- とき 第1火曜日 13:00～16:00 相談時間 13:00～、14:00～、15:00～  
第3土曜日 10:00～13:00 相談時間 10:00～、11:00～、12:00～
- 対応言語 日本語、英語、中国語、ポルトガル語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、タガログ語ほか
- ところ 岡山国際交流センター ●費用 無料 ●共催 岡山弁護士会
- 予約 岡山国際交流センター1Fの情報相談コーナー または電話(086-256-2914)にて

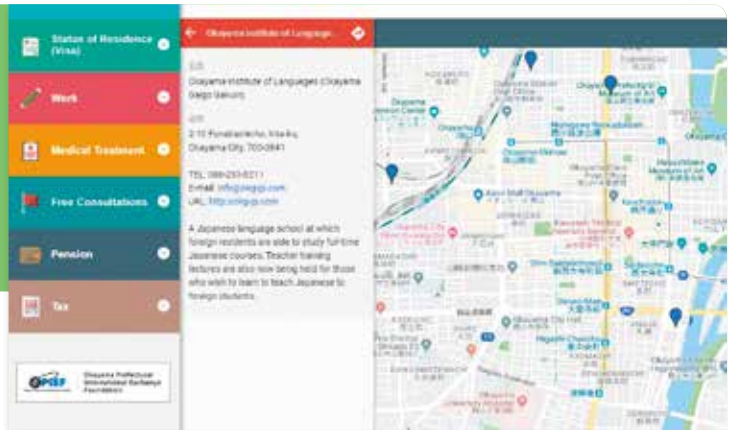
## 「岡山多文化共生MAP」がリニューアル&スマートフォンに対応しました!

「岡山多文化共生MAP」とは、在住外国人が生活をする上で必要とする施設等の情報を日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語で協会ホームページ上に掲載したものです。

地図上にピン印で表示し、クリックすると施設の連絡先や対応言語などの情報が閲覧できるようになっており、日本語教室や国際交流協会、仕事の相談窓口や年金・税金の事務所、また市町村役場には保育園・幼稚園の入園や小・中学校の入学についての問合せ先情報を掲載しています。ほかにも、外国語対応が可能な病院や、法律相談・在留相談などができる施設を閲覧できます。

今年度はリニューアルし、スマートフォン対応も始めました。ぜひ、お知り合いの外国人の方にお知らせください。

岡山多文化共生MAP URL : <http://www.opief.or.jp/tabunkamap/ja/>



### 1月

#### 1月～3月 国際貢献NGOフェア

国際貢献活動を行っている県内のNGO団体が岡山国際交流センター1階ロビーで活動内容を紹介するパネル展示を行います。期間中にはNGO団体による講演等も開催します。

- とき 令和2年1月～3月(10～12週程度)
- ところ 岡山国際交流センター 1階ロビー(パネル展示)及び会議室(講演等)
- 対象 一般県民
- 参加費 無料
- 共催 特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会(COINN)
- 申込み 不要
- 問合せ 特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 事務局  
TEL:086-256-2535(月～土曜日 9:00～17:00)

#### 10日(金)・11日(土)・17日(金)

#### 多文化共生コミュニケーションサポーター研修会

学校や行政機関の窓口、医療機関で外国人のサポートをする通訳ボランティアに必要な知識や心構えについて学びます。

- とき ①令和2年1月10日(金) 13:00～16:00  
②令和2年1月11日(土) 13:00～16:00  
③令和2年1月17日(金) 13:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 3階 研修室
- 対象 岡山県国際交流協会の「多文化共生コミュニケーションサポーター」制度の登録者及び新規に登録を希望する方  
※新規登録希望者の参加条件
  - 日本語とその他の言語で円滑に意思疎通ができる方(例えば英語で登録希望の方は英検1級、TOEIC900点程度の語学力がある方)
  - 県内在住・在学・在勤の20歳以上の方でボランティア活動をする意志と時間の余裕のある方
- 参加費 無料
- 定員 各25名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課

#### 25日(土) ボランティア研修会

外国人と共に暮らす地域づくりについて考えます。

- とき 令和2年1月25日(土) 13:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 5階 会議室(1)
- 内容 講義・ワークショップ
- 講師 北村 広美氏(多文化共生センターひょうご 代表)
- 対象 当協会ボランティア登録者(新規にボランティア登録を希望する方も可)
- 参加費 無料
- 定員 30名程度(要申込み)
- 申込み 企画情報課

### 2月

#### 8日(土) 「やさしい日本語」研修会

外国人へ情報が正しく適切に伝わるように、どの国の人にも理解できる「やさしい日本語」の研修会を開催します。

- とき 令和2年2月8日(土) 13:00～16:00
- ところ 岡山国際交流センター 7階 多目的ホール
- 対象 日本語指導者、多文化共生コミュニケーションサポーター 地域共生サポーター 等
- 参加費 無料
- 定員 50名程度(要申込み、定員になり次第締切)
- 申込み 企画情報課

#### 22日(土)

#### 第2回「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会

災害時の外国人支援について学ぶ研修会を開催します。講義やワークショップのほか、非常食体験や防災グッズの配布もあります。

- とき 令和2年2月22日(土) 10:00～15:30
- ところ 岡山国際交流センター 8階 イベントホール
- 講師 土井 佳彦氏  
(特定非営利活動法人多文化共生 マネージャー全国協議会 代表理事)
- 対象 災害時の外国人支援に関心のある方
- 参加費 無料
- 定員 60名(要申込み)
- 共催 岡山県、岡山市、岡山ロータリークラブ
- 申込み 企画情報課



昨年度研修会の様子

## 会員募集



一般財団法人岡山県国際交流協会では  
会員を募集しています。

#### ☆会員の特典

- 会報誌「おかやま国際交流」による国際交流情報の提供(年4回)
- メールマガジンの配信(月1回)
- 協会主催事業への参加費割引(団体会員は1団体2名までを割引)
- 入会時に記念品をプレゼント

#### ☆年会費

個人会員：2,000円 団体会員：10,000円  
賛助会員：30,000円

#### ☆申込み・問合せ 総務課まで

TEL:086-256-2000 ※9:00～17:30(月～土曜日)

E-mail:kokusai@opief.or.jp

### 問合せ

#### 一般財団法人 岡山県国際交流協会

企画情報課 企画情報班

☎086-256-2914 (月～土 9:00～17:00)

総務課 ☎086-256-2000 (月～土 9:00～17:30)

会議室等の予約 受付管理班 ☎086-256-2905 (9:00～18:00)

[休館日]12月29日～1月3日及び臨時休館日(ただし日曜日は貸室業務以外休み)

#### 編集・発行

〒700-0026 岡山市北区奉還町2-2-1

岡山国際交流センター内

一般財団法人 岡山県国際交流協会

☎086-256-2000(月～土 9:00～17:30)

☎086-256-2226

ホームページ: <http://www.opief.or.jp>

Facebook: <https://www.facebook.com/coolopief/>

Twitter: [https://twitter.com/opief\\_okayama](https://twitter.com/opief_okayama)

E-mail: kokusai@opief.or.jp

#### 協会HP

